

質問	ランソプラゾール OD 錠 30mg の簡易懸濁法での投与は可能ですか？
回答	<p>ランソプラゾール OD 錠 30mg は水で 5 分以内に崩壊・懸濁し、12Fr.のチューブを通過しています。 また、懸濁液の溶出性（耐酸性）は、10 分後に水で約 6%でした。</p> <p>なお、本製剤はマクロゴール 6000 を含有する製剤ですので、通常の約 55℃より少し低い温度で崩壊させる方がスムーズに注入できます。</p> <p>この資料は本剤の懸濁状態及びチューブの通過性を検討した資料であり、臨床で経管投与した場合の有効性・安全性の評価は行っておりません。</p> <p>本剤をご使用の際には添付文書をご確認の上、医療従事者の裁量と判断のもとに行っていただきますようお願い致します。</p>
参考資料	【ランソプラゾール OD 錠 30mg「ケミファ」】 簡易懸濁試験に関する資料